

## 第IV部 文化遺産フィールド研修報告

# 静岡県袋井市藤枝市の文化遺産 ～フィールド研修 2015 について～

菱田 哲郎

## 1. 研修のねらいと経緯

歴史学科では、学部2回生を対象とした課外のプログラムである文化遺産フィールド研修を2009年度から実施してきた。毎年、8～9月頃の夏期休業を利用して、2泊3日の日程で研修をおこなっている。実際に現地をおとずれ、現地の方に話をききながら、文化遺産の調査、保全、活用などについて学習するプログラムである。研修に参加する学生は、各自課題を設定したうえで事前勉強会で報告し、3日間の研修を終えたのち、研修内容をレポートにまとめ、最終的に報告書として公開することになる。昨年度までの研修先等は次のとおりである。

京都府立大学文学部歴史学科では2回生を対象とした課外プログラムの文化遺産フィールド研修を2009年度から実施してきた。夏期休業中に2泊程度の行程で地域の文化遺産を学ぶ巡見を中心とした研修をおこなっている。今回は、歴史学科の東洋史学担当の教員である岡本隆司が関わってきた袋井市可睡斎の「活人剣」が復原されることを捉え、袋井市の近代の文化遺産を調べることとし、また、古代の遺跡が復原され、近世東海道の宿場も残される藤枝市の文化遺産も合わせて研修の対象とした。日程は、2015年9月4日から6日の2泊3日である。

1日目は袋井市の可睡斎を訪れ、寺院境内の見学をおこなった。寺内の文化財を見たのちに伊東忠太の設計による護国塔では内部の拝観もさせていただいた。そして、もとの活人剣碑の現状を見学し、新たに制作中の活人剣碑の工事現場も確認した。夜には、「袋井市町そだての会」の皆さんからお話をうかがい、さまざまな質問をさせていただいた。その夜は可睡斎に宿泊し、学生の一部は早朝の座禅にも参禅し、禅寺の生活を体験することができた。

2日目は、朝に寺院境内を自由に見学したのち、バスで袋井市の浅羽地区に移動し、ベトナム独立運動の父であるファン・ボイチャウを助けた浅羽佐喜太郎の石碑が立つ梅田山梅林寺を訪れた。近代アジア史の一齣が石碑に残されていることに感動するとともに、市指定文化財として近代の石碑が守られていることにも感心した。その後、海岸部に残された近世の津波避難施設である中新田命山とその現代版の防災施設を見学した。

午後は、藤枝市に移動し、岡部宿を見学した。夕方には、藤枝市教育委員会の岩木智絵さんに藤枝宿内を案内してもらい、藤枝市の文化財についての話を聞く機会をもった。藤枝宿内で一泊した翌朝、田中城跡に向かった。さらに藤枝市郷土博物館を訪れ、館内の見学ののち、周辺の古墳公園や御子ヶ谷遺跡を見学するグループと岡部宿へ再度向かうグループに分かれた。なお、一部の学生は、上杉和央とともに茶業関係の聞き取り調査に参加した。

参加者 教員：岡本隆司・東昇・菱田哲郎（幹事）・向井佑介・上杉和央（部分参加）  
学生（2回生）：陰地祐輝・木下梨紗子・新尺雅弘・竹内祥一郎・土田雄大  
寺岡潤一郎・福間優華・益田紗由美・水野拓也・八重樫奈月  
藪内衿子  
大学院生：萩恵里子・井上真美・大平理紗

## 2. 主要な行程

9月6日（日）

13：00～14：00 袋井市可睡齋着、関係者のご紹介  
14：00～15：00 境内、遺産など案内～「護国塔」「活人剣」を重点的に  
15：00～17：00 「まちそだての会」の方々から聞き取り  
～とくに再建の活動について  
夜 ミーティングで、「活人剣」の歴史・現状・保存・活用について討論

9月7日（月）

10：00～11：00 袋井市梅田山常林寺（浅羽佐喜太郎記念碑）・中新田命山  
13：00～15：00 藤枝市岡部 街道の調査と岡部宿の見学  
16：00～17：00 藤枝宿内の街道と宿場町の見学  
夜 ミーティングでは藤枝市内の文化財の保存と活用について学ぶ

9月8日（火）

8：30～9：30 田中城跡とその周辺  
10：00～12：00 藤枝市郷土博物館と若王子古墳群 博物館の活動と周辺の古墳群  
13：30～15：00 分かれて研修  
御子ヶ谷遺跡公園 遺跡の保存と整備  
岡部方面 宿場町の調査  
茶業に関する聞き取り・実地調査（午前から）

フィールド研修の内容について、事実報告を中心に2回生が分担し、3日間の研修内容が把握できるようになっている。研修のなかでうかがった話の内容は、できる限りそこに含めた。一方、大学院生は、各自設定したテーマにもとづく調査内容を掲載している。

研修に際して、多くの方々にお世話になった。袋井市では、寺田守様や鈴木敬雄氏をはじめとする袋井まちそだての会関係者の皆様、ご齋主をはじめとする可睡齋の皆様、藤枝市では、岩木智絵氏をはじめ文化財課の皆様や大石佳弘氏をはじめ岡部宿大旅籠柏屋の関係者の皆様、高田紘宇氏をはじめとする岡部町ボランティアスタッフの皆様にたいへんお世話になった。貴重なお話をうかがった方々、お世話になったすべての方々に厚くお礼申し上げたい。